

学科名	一級自動車科			
科目名	自動車整備作業（電子制御装置）			
履修年次	3年次	履修学期	4月～2月	授業形態
				実習
教育時間数	35時間			
単位時間	1単位			
担当教員	小野寺 敬 司・山 本 裕 貴・阿 部 淳・上 杉 裕 紀・大 塚 剛			
実務経験	全員が自動車関連会社にて勤務し、メカニックの経験がある。			
目的	電子制御システムの制御を理解し、系統別に正しい手順で原因を究明する技術を身に付ける。			
到達目標	各特殊工具の使用ができる 接客応対ができる 各定期点検ができる			
目標資格	一級小型自動車整備士			
授業計画	授業内容			時間数
	電装整備			
	OBDについて、外部診断器の取り扱い、各ダイアグコード確認			14
	オシロスコープの取り扱い、波形読み取り及び測定			10
	ドアロック、パワーウインド、ワイパー、各ランプ類の点検			2
	その他電装整備			7
	前期期末実習試験・後期期末実習試験			2
				35
使用教科書	エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装置			
成績評価の方法	前期期末試験・後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）			

学科名	一級自動車科			
科目名	自動車整備作業（故障原因探究）			
履修年次	3年次	履修学期	4月～2月	授業形態
教育時間数	90時間			
単位時間	3単位			
担当教員	小野寺 敬 司・山 本 裕 貴・阿 部 淳・上 杉 裕 紀・大 塚 剛			
実務経験	全員が自動車関連会社にて勤務し、メカニックの経験がある。			
目的	故障探究では、電子制御システムの制御を理解し、系統別に正しい手順で原因を究明する技術を身に付ける。			
到達目標	各特殊工具の使用ができる 各定期点検ができる		接客応対ができる 故障探求ができる	
目標資格	一級小型自動車整備士			
授業計画	授業内容			時間数
	故障探求			
	エンジン本体（圧縮測定、オイル下がり、上がり、異音等）			21
	各ダイアグコード出力の原因（エンジン、AT、ABS等）			42
	高難度故障探究、車両総合故障探究			24
	後期期末実習試験			3
				90
使用教科書	エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装置			
成績評価の方法	後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）			

学科名	一級自動車科				
科目名	自動車検査作業				
履修年次	3年次	履修学期	9月～1月	授業形態	実習
教育時間数	10時間				
単位時間	(自動車検査作業、評価実習)1単位				
担当教員	小野寺 敬 司・山 本 裕 貴・阿 部 淳・上 杉 裕 紀・大 塚 剛				
実務経験	全員が自動車関連会社にて勤務し、メカニックの経験がある。				
目的	検査機器を使った確実な検査技術				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・完成検査の流れ、検査方法、調整方法を理解する。 ・自動車の保安基準を理解する。 				
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容				時間数
	自動車完成検査の検査方法 ・サイドスリップ・テスト ・ブレーキ・テスト ・スピードメータ・テスト ・ヘッドライト・テスト ・CO・HCテスト、オパシメーター ・騒音計 ・下廻り検査 ・検査結果確認後、調整、再検査作業				9
	後期期末実習試験				1
					10
使用教科書	法令教材				
成績評価の方法	後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）				

学科名	一級自動車科				
科目名	サービス・マネジメント				
履修年次	3年次	履修学期	9月~1月	授業形態	実習
教育時間数	33時間				
単位時間	1単位				
担当教員	小野寺 敬 司・山 本 裕 貴・阿 部 淳・上 杉 裕 紀・大 塚 剛				
実務経験	全員が自動車関連会社にて勤務し、メカニックの経験がある。				
目的	各企業様と連携し、実際の現場で、整備体験、CS活動、企業の環境と安全を学び、企業人としての行動力及び思考力を身に付ける目的				
到達目標	社会人としての自覚が持てる 接客、礼儀、マナーが出来る				
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容				時間数
	導入教育 企業組織と命令系統				2
	会社各部署の業務内容、人員配置、整備工場の設備等を知る				1
	CS活動				1
	整備体験				21
	基本的な整備体験				1
	部品の供給体制				1
	車両受け入れから納車までの流れ				3
	高能率作業				1
	整備工場の維持管理手法、環境、安全				1
後期期末実習試験				1	
				33	
使用教科書	法令教材				
成績評価の方法	後期期末試験 A：100~80（合格） B:79~60 C:59~50 D:49以下（不合格）				

学科名	一級自動車科			
科目名	評価実習（自動車点検整備、故障探究、総合診断）			
履修年次	3年次	履修学期	10月～1月	授業形態
教育時間数	26時間			
単位時間	（自動車検査作業、評価実習）1単位			
担当教員	小野寺 敬 司・山 本 裕 貴・阿 部 淳・上 杉 裕 紀・大 塚 剛			
実務経験	全員が自動車関連会社にて勤務し、メカニックの経験がある。			
目的	社会に出て即戦力となりうる実践的な技術の評価実習			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様を想定して受付、問診、引き渡し時などの接客対応を学ぶ。 ・定期点検整備と付帯された故障探求作業を時間内で行う。 			
目標資格	一級小型自動車整備士			
授業計画	授業内容			時間数
	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様を想定し、実車にて定期点検整備（12ヶ月）の受付、問診、診断、引き渡しの実施を行う。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 受付、問診、不具合箇所の診断の実施 			2
	<ul style="list-style-type: none"> 引き渡し（整備内容説明）の実施 			2
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検整備 ・故障探求作業（エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装置） 外部診断機、サーキット・テスタ、オシロスコープを活用 			14
後期期末実習試験			7	
			1	
			26	
使用教科書	エンジン電子制御装置、、シャシ電子制御装置、総合診断・環境保全・安全管理			
成績評価の方法	後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）			